

ICTを活用した歩行者移動支援の推進 ーバリアフリー・ナビプロジェクトー

総合政策局総務課(総合交通体系)
(併)政策統括官(国土・土地、国会等移転)付

平成29年10月16日(月)

1. ICTを活用した歩行者移動支援の概要
2. 平成28年度の実施概要
3. 平成29年度の実施予定
4. ロードマップ

2020年を当面の目標とした歩行者移動支援サービスのイメージ

○ユニバーサル社会の構築に向け、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を当面の目標とし、屋内シームレスな電子地図や屋内測位環境等の空間情報インフラの整備・活用、及び**移動に資するデータのオープンデータ化等を推進**し、民間事業者等が多様なサービスを提供できる環境づくりを推進する。

○空間情報インフラ（屋内の電子地図、測位環境等）の整備・管理の仕組み等の検討

＜空間情報インフラ整備のイメージ＞



○歩行者移動支援に資する各種データのオープンデータ化

＜オープンデータの活用によるサービス創出のイメージ＞



歩行者移動支援サービスのイメージ

〔 屋内外問わず、自分の現在位置、目的地までの経路等の情報が詳細に入手可能 〕

空港



主要駅



目的地へシームレスに移動



観光地等

多言語で場所に
応じた観光案内



競技会場

競技会場の自分
の座席まで案内

例えば、障害者や高齢者、ベビーカー等が楽に移動できる段差の少ない経路を案内



1. ICTを活用した歩行者移動支援の概要

検討体制（ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会）

- ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及促進に必要な事項等の検討を目的として、有識者及び省内関係部局等による委員会を平成26年6月に設置。
- 同委員会において、歩行者移動支援サービスの普及展開に向けて「オープンデータ」の考え方を積極的に推進することが必要不可欠等の提言を平成27年4月にとりまとめ。

有識者	委員長	坂村 健 竹中 ナミ 田中 淳 古屋 秀樹 森 亮二	東洋大学情報連携学部INIAD学部長 社会福祉法人 プロップ・ステーション 理事長 東京大学大学院情報学環 教授 東洋大学国際地域学部 教授 弁護士、国立情報学研究所 客員教授	(福祉) (防災) (交通・観光) (オープンデータ)
国土交通省 (行政)		国土交通省 技監 政策統括官（国土・土地、国会等移転） 大臣官房 技術調査課長 総合政策局 安心生活政策課長 総合政策局 技術政策課長 総合政策局 情報政策課長 総合政策局 公共交通政策部 交通計画課 地域振興室長 国土政策局 国土情報課長 都市局 街路交通施設課長 都市局 公園緑地・景観課長		水管理・国土保全局 河川計画課長 道路局 企画課長 鉄道局 技術企画課長 自動車局 旅客課長 港湾局 技術企画課 技術監理室長 航空局 航空ネットワーク部 空港業務課長 観光庁 参事官（外客受入担当） 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部長 国土地理院 企画部長
オブザーバー		東京都 都市整備局 企画担当部長 (オリンピック・パラリンピック調整担当部長 兼務) 東京都 福祉保健局 生活福祉部福祉のまちづくり担当課長		

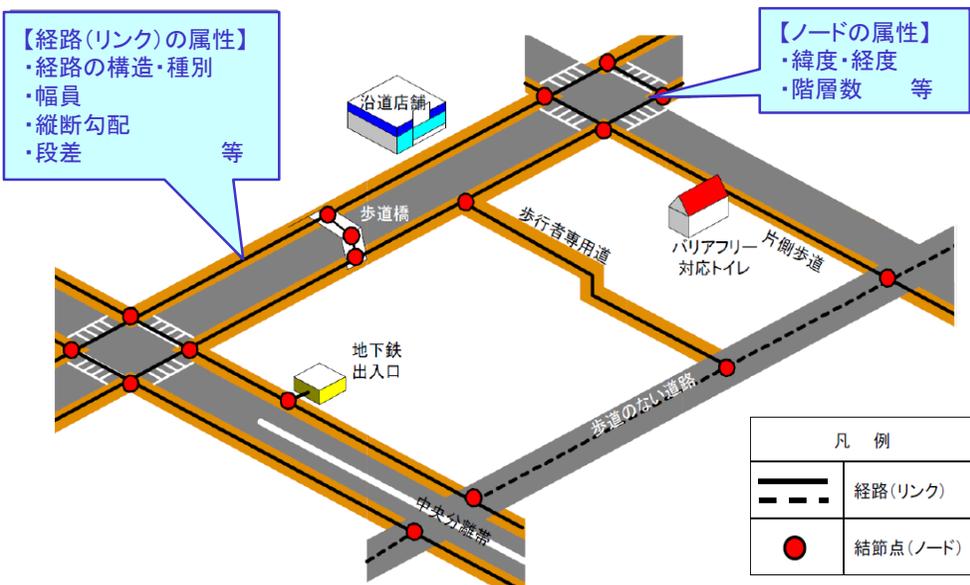


- 歩行者移動支援サービスの普及促進のためには「オープンデータ」の考え方を積極的に推進することが必要不可欠。
- 国が率先して積極的にオープンデータ化に取り組み、これに倣って地方公共団体や民間団体等も取組を進めることが重要。
(オープンデータ化を目指すデータの例：官庁施設のバリアフリー情報、駅等旅客施設のバリアフリー情報、国土数値情報)
- 歩行者移動支援サービスが地域情報提供サービス等、場（地域）に応じた様々なサービス（バリアフリー、観光（訪日外国人など）、防災など）と連携して一体的に提供されることが望ましい。
- 位置を特定するためのビーコンやタグ等の場所情報インフラを誰もが自由に利用できるようにするために、位置情報の表現方法や管理のあり方等について一層の検討を進めていく必要がある。

「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」の改訂

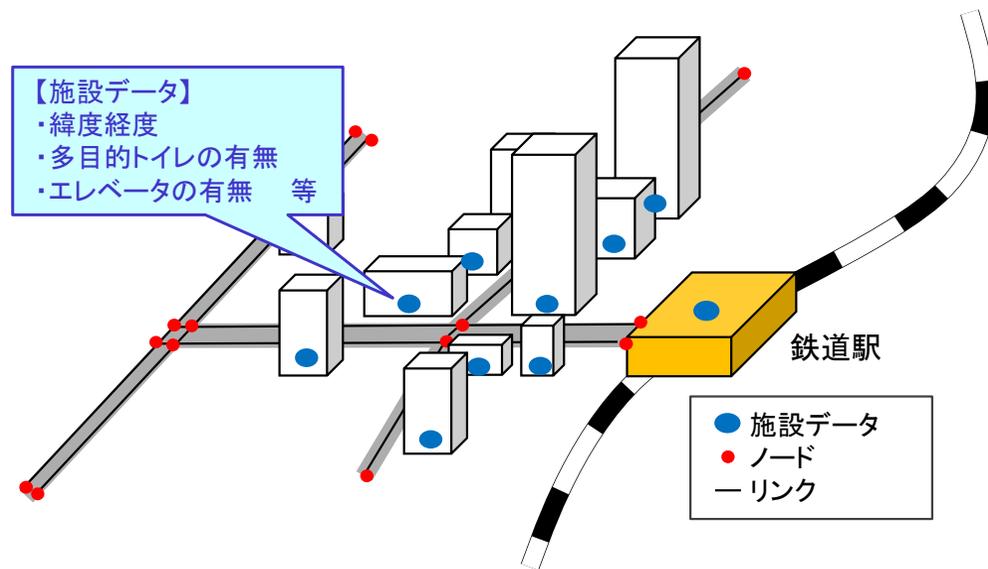
- バリアフリールートを通じたスマートフォンを介してナビゲーションする等のサービスを行う場合、歩行空間のバリアフリーに関する情報(段差、幅員、勾配等)をデータ化した歩行空間ネットワークデータや施設内のバリアフリー設備に関する情報をデータ化した施設データ等が不可欠。
- 歩行空間ネットワークデータ等のデータ仕様について、データ整備促進の観点から従前仕様を見直して、情報項目や属性情報を簡素化し、平成28年度版として公開。

歩行空間ネットワークデータ



「歩行空間ネットワークデータ」とは、歩行空間の形状に合わせてノード(点)とリンク(線)を配置し、属性としてリンク延長や経路の構造・種別のほか、段差や幅員などの情報を持たせてデータ化したものです。

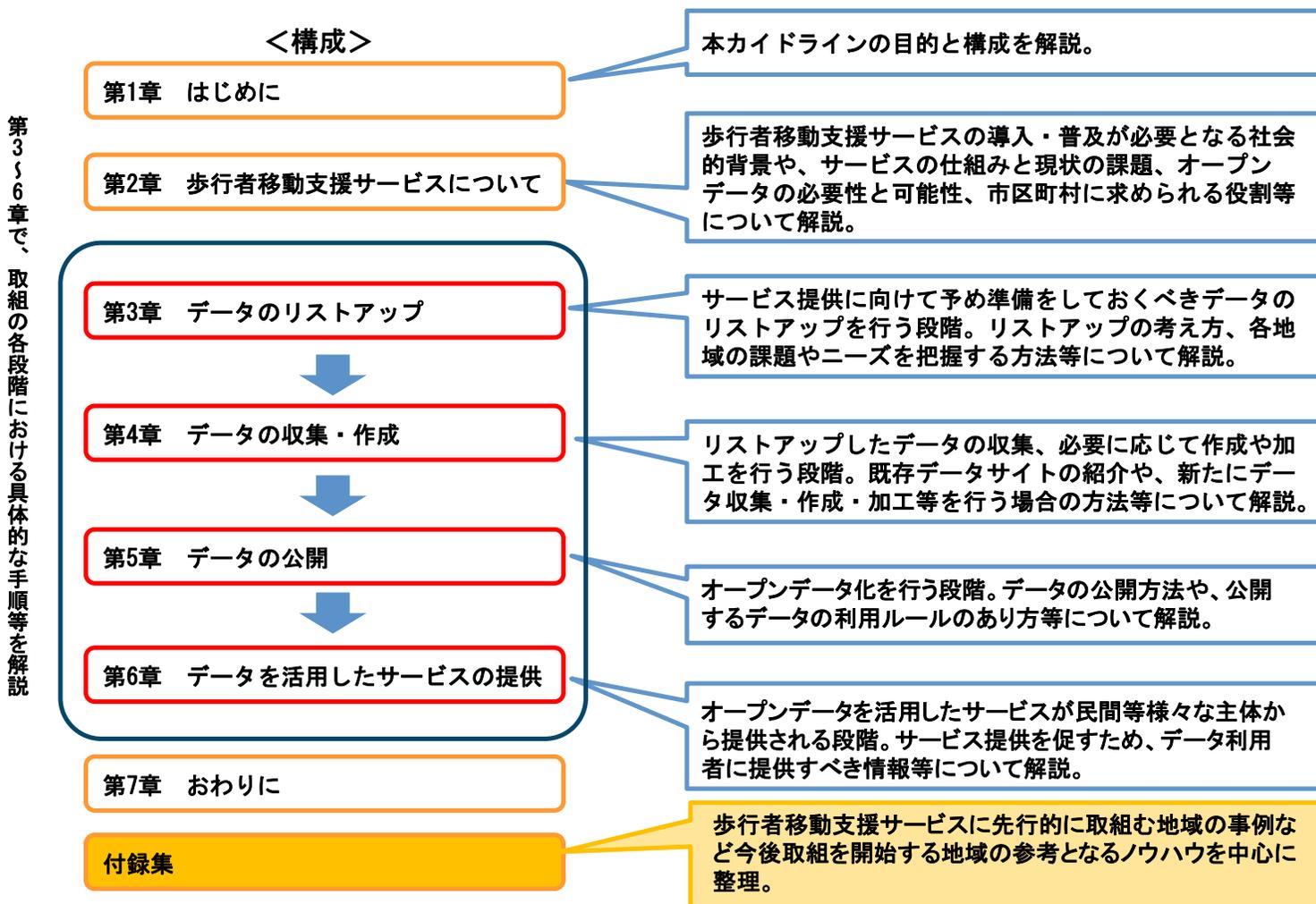
施設データ



「施設データ」とは、施設の位置に合わせてポイントを配置し、属性として位置・名称・住所のほか、バリアフリー設備の種類・有無などの情報を持たせてデータ化したものです。

「オープンデータを活用した歩行者移動支援に関するガイドライン」の改訂

- ガイドラインは、第1章～第7章及び付録集で構成。オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組における具体的な手順等を解説する(第3～6章)とともに、他地域の参考となるような先行的な取組における知見・ノウハウを事例集として整理。
- 平成29年3月に、オープンデータに関する動向の追加、事例集の充実等を行い、ガイドラインを改訂。



2. 平成28年度の取組概要

「歩行者移動支援サービスに関するデータサイト」の改修

- 提言を踏まえた取組の第1弾として、国が積極的に行うオープンデータ化の取組として「歩行者移動支援に関するデータサイト」を平成27年7月に開設。
- 同サイトでは、これまでに整備した歩行空間ネットワークデータ等のほか、公共施設におけるバリアフリーに関する情報、観光情報(無料公衆無線LANスポット)等のデータを掲載し、随時情報を更新・追加。
- サイトの利便性向上等の観点から、平成29年3月にサイトをリニューアル。



国土交通省 歩行者移動支援サービスに関するデータサイト

ホーム 初めての方へ データ よくある質問 利用規約 お問い合わせ・ご意見

データセットを検索 カテゴリ 例) キーワード1 キーワード2 AND キーワード3 登録日限 (降順) 検索

歩行者支援サービスとは

歩行者移動支援サービスは、様々な場面における利用者の情報ニーズに応え、移動経路や地域情報等を提供できるサービスで、スマートフォン等を通じ、ダイレクトに個人へ情報提供できる仕組みです。

本サイトに掲載しているデータは、利用者の利用目的に適合しているとは限りませんが、利用者は自らの責任でご自身の利用目的に適合しているかどうかをご判断ください。

本サイトに掲載するデータの利用実態を把握して、今後のデータの品質向上、データのラインナップなどの計画に役立てたいと考えております。本サイトをご利用になられた際は、**データ利用・アプリ作成に関する登録フォーム**よりアンケートへのご協力をお願いいたします。

<掲載中の主なデータ>

データ一覧

鉄軌道駅施設に関するデータ項目(4/26 2:31時点)

種別	件数	データ説明書	データ
JR	1282件	PDF形式	CSV形式
私鉄	1201件	PDF形式	CSV形式
地下鉄	612件	PDF形式	CSV形式

バスターミナル施設に関するデータ項目

地域名	件数	データ説明書	データ
全国	116件	PDF形式	CSV形式

旅客船ターミナル施設に関するデータ項目

地域名	件数	データ説明書	データ
全国	748件	PDF形式	CSV形式

航空旅客ターミナル施設に関するデータ項目

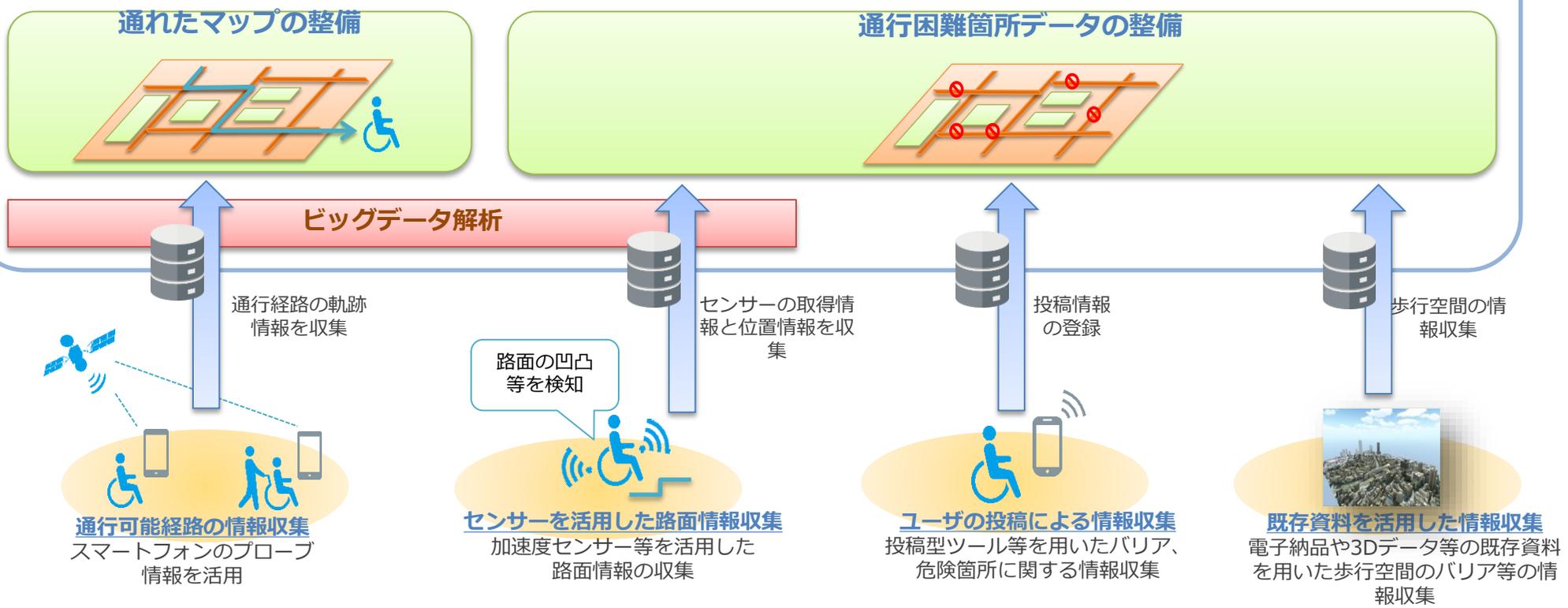
地域名	件数	データ説明書	データ
全国	108件	PDF形式	CSV形式

 (URL) <https://www.hokoukukan.go.jp/top.html>

持続可能なバリアフリー情報の収集に関する検討

○ 歩行空間における段差や勾配、幅員等のバリアフリーに関する情報を、効率的かつ持続的に収集する仕組みを構築するため、多様な主体によるバリアフリー情報を収集する手法を検討。

歩行者移動支援に資するデータの管理サイト



(参考例) 通れた道マップ
車両の走行実績データをもとに通行可能道路を地図上に表示

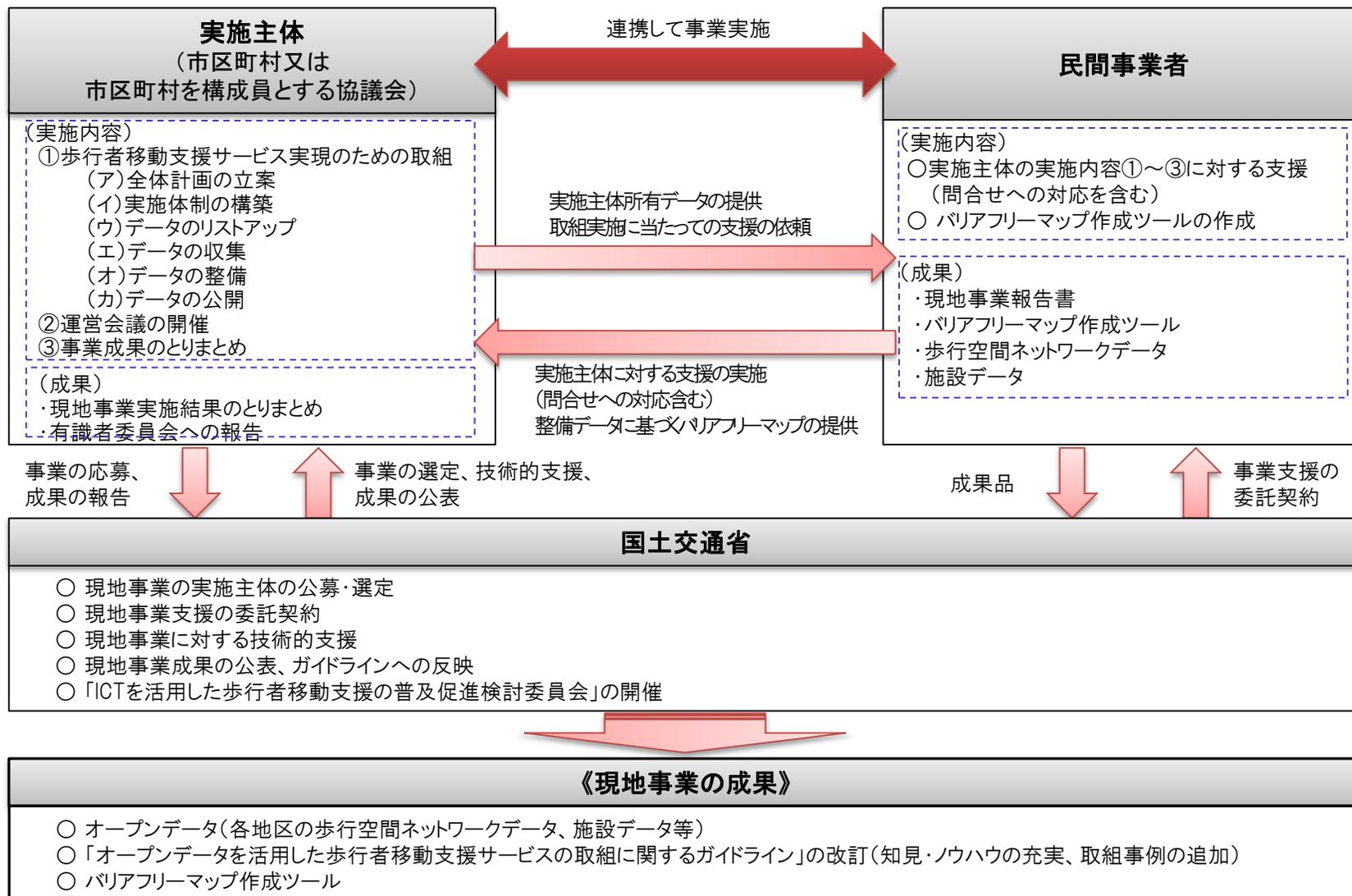
(参考例) 道路の路面性状調査
スマートフォンの加速度センサー等を用いた路面の凹凸の把握

(参考例) 住民投稿型サービス
住民投稿型アプリを用いた、各種施設のバリア、トイレ情報等の収集

3. 平成29年度の取組予定

「オープンデータを活用した歩行者移動支援に関する現地事業」の実施

○市区町村における歩行者移動支援サービスの導入促進に向けて、市区町村との共同による現地事業を通じて得られた知見・ノウハウをガイドラインに盛り込むことにより、取組展開を後押し。



「歩行空間ネットワークデータ整備ツール(試行版)」の提供

○ ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及展開に向けて、歩行空間における段差や幅員、勾配等のバリアフリー情報のオープンデータ化を推進するため、タブレット端末等で簡易に情報の入力・データ化を行うことできるデータ整備ツールを国交省より無償で提供。

The screenshot displays the NWDAP web application interface. The main area shows a map with a network of nodes and links overlaid. The right-hand side contains several form panels for editing data. The 'リンク' (Link) panel is highlighted, showing a dropdown menu for '段差' (Step) with '20cmより大きい(車いす支障あり)' selected. Other panels include 'データ追加モード', 'ノード', and 'エレベータ'.

①歩行経路の形状（リンク、ノード）を図上入力

②プルダウンメニューを用いて属性情報を選択入力

ICTを活用した歩行者移動支援の普及展開に向けたロードマップ

	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021～)
イベント						ラグビーW杯 2019	東京オリン ピック・パラリ ンピック競技 大会	
検討・実施事項	<p>課題・ニーズ等を適宜反映</p> <p>ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討 委員会の設置</p> <p>オープンデータによる歩行者移動支援サービスの普及促進に向けた提言</p> <p>現地事業支援</p> <p>ガイドライン改訂 (自治体担当者向け)</p> <p>データの先行整備</p> <p>サイトの改修 (機能強化)</p> <p>データの作成ツールの検討</p> <p>データ仕様案の改訂(簡素化)</p> <p>プラットフォーム</p> <p>ガイドライン改訂 (ノウハウの充実)</p> <p>現地事業の実施 (効果の見える化等)</p> <p>新たなデータ整備・更新手法 (プローブ、電子納品等)の検討</p> <p>多様な主体によるデータ 整備・更新手法の検討</p> <p>データサイトの データの充実</p> <p>競技会場周辺エリア等の データの先行整備</p> <p>歩行者移動支援サービスの展開、持続可能なサービス構築に向けたプラットフォームの充実</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて多様なサービスの展開</p> <p>全国展開</p>							
政府の取組		他の先進国と同水準のオープンデータの公開と利用を実現 (電子行政のオープンデータ戦略)	「オープンデータ2.0」の決定 (H28.5) 官民データ活用推進基本法の成立 (H28.12)			準天頂衛星4機体制運用開始(高精度測位社会の到来)		